



平成 25 年 4 月 25 日
輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社
報道発表

**「出港前報告制度」の導入に係る NACCS センターとサービス・プロバイダー
「クリムゾンロジック社 (CrimsonLogic Pte Ltd.)」との接続契約の締結について**

平成 25 年 4 月 25 日 (木)、輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社 (以下、「NACCS センター」という。) とサービス・プロバイダーのクリムゾンロジック社 (CrimsonLogic Pte Ltd.) (本社：シンガポール) は、我が国で平成 26 年 3 月からの導入が予定されている「出港前報告制度」に関し、当該制度の報告義務者である海外の船会社及び利用運送事業者 (NVOCC) が NACCS を用い、海外から日本国税関に対し電子的に報告を行う仕組みを整備するため、NACCS とサービス・プロバイダーのシステムを接続することについて、接続契約を締結いたしましたので、お知らせします。

クリムゾンロジック社との契約締結は、シンガポールのサービス・プロバイダーとしては第 1 号となります。NACCS センターにおいては、クリムゾンロジック社を含め、合計 11 社 (海外 9 社、日本 2 社) との間で、海外からの電子的報告を行う仕組みを整備するための協力体制を構築しています。

■本件に関するお問合せ先： 輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社
〒212-0013 川崎市幸区堀川町 580 番地 ソリッドスクエア西館 8 階
担当：企画部 (神例・荒巻)
E-mail: afr-c@naccs.jp

■NACCS センターは、「出港前報告制度掲示板」を開設し、同制度に関する全ての情報を一括して掲載しております。同掲示板には、当該制度の運用に関する情報のほか、サービス・プロバイダーとの接続契約の締結状況、世界主要都市における現地説明会の開催情報等についても掲載しておりますので、ご参照ください。

<http://www.nacccenter.com/afr/indexj.html>

◆輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

吉本卓雄代表取締役社長メッセージ

本日、クリムゾンロジック社と「出港前報告制度」に係る接続契約を締結することができましたことを皆様にお知らせいたします。

シンガポールは世界最大級のコンテナ取扱量を誇り、日本向けの海上コンテナ航路を持つ最も重要な拠点港の一つです。同港における適正な報告を確保することが、出港前報告制度の円滑な実施のために必要不可欠であることは言うまでもありません。この点において、シンガポールに拠点を置くクリムゾンロジック社をサービス・プロバイダーとして迎えることができたことは非常に大きな意味があります。同社はさらに、シンガポールのみならずアジア、中東、北米等の世界各地に事業を展開しており、世界の主要港においてもその力を発揮して今後大きな役割を果たすことは間違いありません。

これまで、同社及び弊社はPAA（Pan-Asian e-Commerce Alliance：アジア地域で国際物流関係の電子システムを提供する11企業が加盟）のメンバーとして協力体制を構築してきております。引き続きこれまで以上に緊密に連携し、システム構築や関係者への情報提供等に取り組んで参ります。

◆サービス・プロバイダーのクリムゾンロジック社（CrimsonLogic Pte Ltd.）

レオン・ペン・キオン（Mr. Leong Peng Kiong）CEOメッセージ

クリムゾンロジック社は、輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社（NACCS センター）と共同し、シンガポールにおいて戦略的なサービス・プロバイダーとなれる事を大変嬉しく思います。日本で新たに導入される出港前報告制度を順守するため、当社がシンガポールや他の諸外国のNVOCCに対し、積荷情報を電子的に報告する際の手助けとなれば幸いです。

このたび当社とNACCSセンターとが接続契約を締結したことにより、当社の卓越した実績と国際的な評価を活かし、日本税関が新たに導入する出港前報告制度に対応し、便利でシームレスな物流サービスをNVOCCに提供できるものと確信しています。



- ※1 クリムゾンロジック社との契約署名は、第43回PAA会合の機会を利用して実施。
- ※2 写真は、同会合の開催場所であるシェラトン香港ホテル&タワーズ内にて撮影。
- ※3 写真左は当社・吉本、右はクリムゾンロジック社ジョナサン・コウ貿易事業部長。
(出港前報告制度にかかるサービス・プロバイダー事業の責任者)

(以上)